

令和6年度

中央公民館地域フォーラム開催結果

公民館地域フォーラムとは？

地域や利用者の皆様に、公民館の事業や運営などへの理解を深めていただくこと、そして皆様の意向を公民館運営に生かすため、自由に話し合い、共に考える集まりです。

<概要>

日時 令和6年10月25日（金）13時30分～15時00分
場所 中央公民館 第1学習室
参加者 9人（公民館利用者，地域自治団体等）
進行 中央公民館

<フォーラムの進め方>

～公民館からの概要説明～

公民館の沿革，公民館の運営方針，利用状況，登録団体数，事業実績と計画，利用者アンケート結果などについて説明しました。



～公民館事業活動への意見交換～

概要説明、公民館事業活動、地域課題を学びに生かすこと等について意見交換しました。

<ご意見等>

○施設利用面について

- ・個人ではなく、団体活動の利用として部屋でW i - f i を使える説明があったので、今後サークルで利用しようと思った。
- ・邦器楽のサークル会員で、高齢のため中央公民館2階への階段を昇ることが困難になり脱会された方がいる。現在は1階の部屋で活動しているが、2階に昇るためにエスカレーターやエレベーター、又は高齢者が掴みやすいグリップの効いた手すり等があればいいと思っている。
- ・最近、軽く荷物を持てるようなパワースーツが出てきているが、階段歩行しやすいパワースーツが開発されてくれば動ける範囲も広くなると思うが、今後、高齢化で活動場所に仲間が集まらないことも想定される。そうなる前に自分たちでできる範囲で、仲間同士や各関係機関に相談する声掛けや、助け合い、運動能力の低下を防ぐための活動やアイデアが必要だと思う。
- ・利用者数が全公民館の中で3番目であり、工夫次第では利用者数は伸びるはず。部屋の移動式長机などが古いので、利用者が活動しやすいように更新されても良いと思う。

○公民館の事業活動について

- ・朝日地区ふれあいサロンの中に、共催事業で公民館利用団体が演奏発表するふれあいコンサートがあることを知り、良い取組だと思った。
- ・実施済みの公民館利用者アンケートに「公民館主催の講座に参加したことはありますか」の設問があるが、もう少し公民館事業に参加している人の割合は多いと感じる。例えばひまわり食堂や子育てサロンは講座というイメージがないので、講座という文言を「公民館での催し」とか分かりやすくイメージできる文言にした方が割合の数字は上がると思う。
- ・今年度、公民館と朝日地区の共催で「旭川の遺跡講座」を実施した。あまり知られていないが、旭川には1万年以上前の遺跡があることを学んだり、縄文土器を間近かに見ることができ、有意義な講座となった。先日、朝日地区の基北川にサケの遡上を確認できた。縄文人はサケを食べていたはずなので、来年度は縄文時代やサケに結びつく旭川の魅力を再発見できるような共催講座をできればと思っている。
- ・百寿大学に参加している。カリキュラムは軽スポーツや頭を使うメニューを取り入れるなど、私たちが飽きないように構成されており感謝している。

○地域課題を学びに生かすために

- ・地域包括支援センターを知っている人と知らない人の2極化してきている。知っている人は早めに相談に来るが、知らない人はギリギリまで相談に来ない傾向がある。もっと知ってもらう機会を増やしていくためにも、公民館を活用した講座を行っていききたい。
- ・地域活動と公民館サークル活動をしているが、会員が減少してきているので、支援していただければと思う。
- ・民生児童委員をやっているが、見守りが必要な人が多いのに、担い手が少ない。そのためには地域包括支援センターとのつながりが大切と思っているので、民児協の例会等にご足労いただき相談に乗ってほしい。

- ・中央公民館と共催で子育てサロンを実施している。基本的に活動を休まず、細長く継続して参加者が楽しく健やかに過ごす場を提供していくことで、子育てや家庭教育支援につながると考えている。
- ・ひまわり地域食堂を公民館で実施している。公民館なくして朝日地区はないと思っている。朝日小学校の隣の良い場所に公民館があるのは強み。朝日地区は活気が出てきていると感じている。
- ・高齢者がなかなか公民館に来られないことは課題と思う。デイサービスのように送迎すれば来ると思うが、ボランティアや行政には難しいと思うので、地域のふれあい祭り等をヒントに、地域の人と企業が連携して取り組むことができれば、好転する可能性もあると思う。
- ・朝日地区では空家問題でなく、空いた土地が売りに出ていない課題がある。これが解決すれば、家が建つようになり、小学生も増えると思う。
- ・地域には若い担い手が必要で、そのためには小学校の保護者もキーになってくると思う。現状ではPTAを敬遠する保護者が多いが、子供や地域のために何かやってみたいと思っている人もいるので、底上げしていく工夫が必要だと思う。
- ・地域事業の参加者を増やすには、関係機関と連携してアナログな声掛けも重要と思う。そこから地域に勢いが出てくると思う。
- ・百寿大学の人員はひと昔のように大勢集まらないのは、会合等に集合することが苦手な人や超高齢化の要因もあるのかもしれない。健康寿命者数を増やすためにも、魅力あるカリキュラムを継続し、百寿大学や中央公民館施設の運営に頑張ってもらいたい。
- ・中央公民館サークル、団体芸能発表会を実施している。かつては文化会館小ホールに大勢の人で賑わっていたが、高齢化、担い手が減る、サークル数が減る、人が減る、という傾向になってきている。現在は他サークルと合併して発表する団体もいる。
- ・高齢者に外出する場所があることは大事。次にそこに行こうと思ひ、どうやって行こうかと考え、デイサービスや日常の運動で足を鍛えて行こう等と考えてもらうこともねらいとなる。しかし、それ自体も年齢を重ねると難しくなってくる。そのような課題を認識しながら、知恵を絞り、少しでも解決につながるような取組ができたらと思う。

貴重なご意見、ご提言をいただき、誠にありがとうございました。
皆様のご意見につきましては、中央公民館の運営や事業活動に反映させるよう努めてまいります。
今後とも、中央公民館運営に、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。